発表場所：都庁記者クラブ（資料配付）
発表日時：令和８年１１月１３日（金）１４時

令和８年１１月１３日
国土交通省国土地理院
関東地方測量部



愛宕神社において三角点の測量作業を公開します
～日本最古の三角点と測量の歴史を訪ねる～

国土地理院関東地方測量部では、愛宕神社境内に設置されている三等三角点 愛宕山 の測量作業を公開するとともに、パネル展示や測量機器体験で測量技術の歴史を紹介します。

東京都港区の愛宕神社の境内に設置されている三等三角点 愛宕山 は、過年度の境内整備に伴い、現在の場所に移転・再設されました。この度、移転後の経緯度を決定するため、GNSS 衛星を用いた基準点測量作業を行うこととし、６月３日「測量の日」の記念行事の一つとして、この作業の様子を愛宕神社に来場された皆様に公開します。

愛宕神社の境内には三等三角点 愛宕山 のほかに、明治初期に設置された「日本最古の三角点」や「几号（きごう）高低標」が残っており、これらを含めた基準点を巡るミニガイドツアーを実施するほか、境内北側広場において測量技術の変遷を紹介するパネル展示や測量機器の操作体験などを行います。

※ GNSS（全球測位衛星システム）衛星は位置計測のための電波を発信している衛星です。
※ 三角点は水平位置（東西・南北）の基準となる測量標です。
※ 几号高低標は明治初期に使用された高さの基準となる測量標です。

公開日時：令和８年１１月２１日（土）１０：００～１５：００（小雨決行・荒天中止）
公開場所：愛宕神社 境内（東京都港区愛宕１丁目５－３）
参加方法：当日会場に直接お越しください（参加無料・予約不要）

※ 取材をされる方は事前連絡の上、当日は会場受付までお越しください。

添付資料
別紙　「愛宕神社 三角点 測量作業公開」チラシ

ウェブサイト：　https://www.gsi.go.jp/kanto/kanto40002.html

（問合せ先）
〒102-0074 東京都千代田区九段南 1-1-15 九段第二合同庁舎
国土地理院　関東地方測量部
次　長　　西城　祐輝　　TEL 03-5213-2057（直通）
測量課長　　針間　栄一朗　　TEL 03-5213-2060（直通）

～日本最古の三角点と測量の歴史を訪ねる～

国土地理院

愛宕神社三角点

入場無料！
事前登録不要！

測量作業公開

11月21日（土）

10:00 ～ 15:00

（小雨決行、荒天中止）





写真提供：愛宕神社

会場：
愛宕神社 境内
東京都港区愛宕１丁目５－３

主催：国土地理院関東地方測量部
協力：(一社)東京都測量設計業協会

お問い合わせ：
国土地理院関東地方測量部
（03-5213-2057（平日のみ））
または次のウェブページまで
http://www.gsi.go.jp/kanto/kanto40002.html
（中止の情報はウェブページで公表いたします）

愛宕神社 三角点 測量作業 公開

～日本最古の三角点と測量の歴史を訪ねる～

東京都港区の愛宕山は武蔵野丘陵の辺縁に位置する東京23区内で最大の自然山であり、古くは広い眺望を誇っていました。そのため、山頂にある愛宕神社境内には、明治初期に設置された日本最古の三角点を始めとし、長らく測量の基準となる三角点が設置されてきました。

現在の三角点は愛宕神社の境内整備に伴い移転・再設したもので、この度移転後の経緯度を決定するため、GNSS衛星を用いた基準点測量作業を行うこととなりました。

本イベントでは、再設された三角点で行うGNSS測量を公開するとともに、測量の歴史を紹介するパネル展示、日本最古の三角点等を紹介するミニガイドツアーなどを実施します。

日本の測量の歴史と最新技術が出会う愛宕山・愛宕神社で、測量の魅力に触れてみませんか。

ミニガイドツアー

境内にある日本最古の三角点や、現代の測量の様子を専門家が説明します

GNSS測量公開

境内にある三等三角点で、現代の測量技術を使ったGNSS測量を行います

パネル展示

明治期から令和の現代までの測量の歴史や変化をパネル等で紹介します

ミニガイドツアーは、各回約30分で、10:00、11:00、13:00、14:00に開催します。開催時刻に合わせて、会場内の受付までお越しください。



測量体験（子供向け）

実際に測量で使っている機械を使って、距離を測ってみよう！



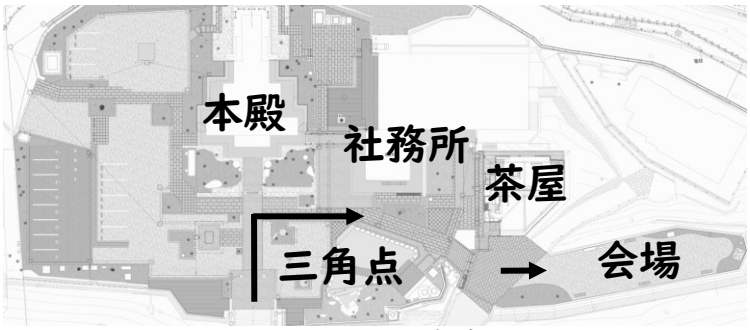
会場：

愛宕神社 境内

東京都港区愛宕１丁目５－３

日比谷線「神谷町駅」より徒歩5分
日比谷線「虎ノ門ヒルズ駅」より徒歩5分
銀座線「虎ノ門駅」より徒歩8分
都営三田線「御成門駅」より徒歩8分

会場案内



見学受付・展示会場は北側広場にお越しください

- 出世の石段（男坂）からは本殿に向かって右手に池を越えて進む
- 女坂からは上がってすぐ右手

参拝の邪魔にならないよう、ツアー以外では三角点付近で立ち止まらないでください。